

2021年度 第36回全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会 開催要領

1. 研修テーマ： 地域で展開する看護の協働～地域看護と公衆衛生看護～
2. 研修のねらい：2022年度の指定規則改変に向けて地域看護学への理解を深め、保健師アイデンティティを兼ね備える公衆衛生看護学教育の内容を検討する機会とする。
3. 主催 一般社団法人全国保健師教育機関協議会
4. 日時 **2021年8月21日（土）9：50～16：15（受付9：30～）**
5. 方法 ZOOMによるリアルオンライン開催とする
6. 参加資格 保健師教育担当者、保健師教育に関心のある方
7. 研修参加費

教員 会員校、賛助会員	無料
教員 非会員校	1人 15,000円
関係者	15,000円
現任保健師	無料
会員校大学院生	無料（現任教員を除く）
8. 申込み期限 登録 **2021年7月16日（金）期日厳守**
9. 申込方法 ㊦申込方法をおひとりずつのオンライン登録といたしました
㊦分科会の聴講希望の抽選結果は、オンライン URL を配信する際にお知らせします。

Step1：参加登録

所要時間 約10分
お早めをお願いします

全保教ホームページ：研修会ページより、オンライン事前参加登録システムにアクセスいただき、お名前・メールアドレス・ご住所・聴講希望分科会などをおひとりずつご登録ください。㊦メールアドレスは共用いただけません。
《▶参加受付番号、送金先などを記載した【受付完了メール】が自動配信されます》

Step2：費用送金

【郵便振替口座】
締切7/16（金）

Step1 参加登録後に配信される【受付完了メール】に記載された、費用総額・送金先口座・払込取扱票記入例をご参照の上、郵便局備付の払込取扱票（青色）にて、おひとりずつ参加費用をご送金ください。
㊦払込取扱票記入必須項目：参加受付番号、お名前、ご住所、お電話番号、送金額

10. 注意事項 事務局は8月11日（水）～16日（月）の間、夏期休業となります。
お問合せは早めにお問い合わせいたします。

11. 問合せ先（全保教事務局）

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入ル 中西印刷株式会社 学会部内
メール japhnei_kenshu@nacoss.com ㊦件名に「**研修会**」をつけてください

2021年度 第36回全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会 プログラム

テーマ:地域で展開する看護の協働～地域看護と公衆衛生看護～

開催日:2021年8月21日(土)9:50～16:15 方法:ZOOMによるリアルオンライン研修とする。

参加費:会員校;無料、非会員校;15,000円、現任保健師(無料)

09:30～09:50	受付	
09:50～10:00	開会 オリエンテーション 開会挨拶	全国保健師教育機関協議会 中国四国ブロック理事 金山時恵氏 全国保健師教育機関協議会 研修委員長 山口 忍氏 全国保健師教育機関協議会 副会長 鈴木 美和氏
10:00～12:00	講義「地域看護学におけるコミュニティナースの実践」 座長:橋本文子氏(徳島文理大学) 講師:金井一薫氏(徳島文理大学大学院看護学研究科 教授) (ナイチンゲール看護研究所 所長) 内容:2022年度指定規則改変に向けて地域看護学についての学問体系とその実践について理解を深め、フロアとのディスカッションを行うことで、参加者全員が公衆衛生看護学教育の発展に向けた課題と各々のカリキュラムを考える機会とする。	
＜休憩＞		
13:00～15:00	分科会の詳細については検討中です	
【第一分科会】 教育課程 委員会企画 定員なし	テーマ:保健師教育評価指標を用いた教育の評価を考える 座長:岩本里織氏(教育課程委員長、神戸市看護大学) 内容:指定規則等の改正に伴い保健師教育評価指標の改正を行った。本分科会においては、本評価指標を用いて保健師教育を評価し改善をされている具体例を2名の講師にお示しいただき、今後の活動方法を検討する。 講師:大木幸子氏(杏林大学保健学部看護学科 教授) 入野了士氏(愛媛県立医療技術大学看護学科 講師)	
【第二分科会】 教育体制委員会 企画 定員なし	テーマ:大学院の設置に至るプロセスとカリキュラムの実際 座長:西出りつ子氏(教育体制委員長、三重大学) 内容:大学院保健師教育を本年度に開始された先生方を講師としてお迎えし、大学院化に至るプロセス、工夫されたことやご苦労、そしてカリキュラムについてご紹介いただく。大学院化を検討中または関心をもつ会員校と、上乘せ教育の推進につながる要因を検討し、それらに応じた取り組みのあり方や具体策を探る。 講師:中尾理恵子氏(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科保健学専攻 教授) 柳澤理子氏(愛知県立大学大学院看護学研究科 教授) 船橋香緒里氏(岐阜保健大学大学院看護学研究科 教授)	
【第三分科会】 研修 委員会企画 定員なし	テーマ:地域保健活動に活かす混合研究法:質と量 両者の統合から見えるもの 座長:山口 忍氏(研修委員長、茨城県立医療大学) 講師:亀井智子氏(聖路加国際大学大学院看護学研究科 教授) (日本混合研究法学会 理事) 協力講師:村田 翔氏(川崎市立看護短期大学 小児看護学 助教) 内容:混合研究法とは、質的研究(データ)と量的研究(データ)を収集し、両者を統合することにより、事象を深く理解する新しい研究パラダイムである。R2年度の教員研修の内容を含めつつ実践に繋がるワークを取り入れた内容とする。	
15:00～15:15 ＜休憩＞		
15:15～16:15 全体会	テーマ:地域住民の健康を守るための地域看護学と公衆衛生看護学の役割 座長:森永裕美子氏(岡山県立大学) 内容:午前中の講演内容の理解を深め、公衆衛生看護学教育の向上に向けたディスカッションを参加者同士で行う。	

